

マガンの飛び立ち



観察時刻 (日の出30分前～)

11月初め: 5:30頃
12月初め: 6:00頃
1月初め: 6:30頃

*曇りや雨の日には、飛び立ちが遅くなる場合があります。

マガンは夜間に沼で休息し、早朝に一齐に飛び立って周辺の水田へ向かいます。マガンが一齐に飛び立つ時の羽音と鳴き声は、環境省の「残したい“日本の音風景100選”」にも選ばれています。

冬鳥



シジュウカラガン(☆)



マガン



オオヒシクイ



ハクガン



オオハクチョウ



マガモ



オナガガモ



キンクロハジロ



ミコアイサ



カワアイサ



オジロワシ(☆)



ハヤブサ



カシラダカ



マヒワ



ベニマシコ

☆は“国内希少野生動植物種”です。

国指定伊豆沼鳥獣保護区周辺図

トイレ 駐車場

— 車道 — 車道 (大型バス通行不可)

--- 鳥獣保護区 --- 鳥獣保護区特別保護地区



宮城県伊豆沼・内沼 サンクチュアリセンター(鳥館)

伊豆沼・内沼に生息する鳥類や自然環境に関する展示があります。

ここでは、沼の自然再生に向けた取り組みや、鳥類などの生態を明らかにする研究を実施しています。

←背中に発信器をつけたオナガガモ。鳥の渡りを研究しています。



ウェットランド交流館 (宿泊施設)

水生植物園

多くのトンボ類が観察されます。(5～9月)

ハス舟のりば (8月)

伊豆沼

内沼

ハス舟のりば (8月)

マガン・ハクチョウの採食活動観察ポイント(10～12月)

マガン飛び立ち 観察ポイント

マガンのねぐらと飛び立ち方向

ハス舟のりば(8月)

マガンのねぐらと飛び立ち方向

夏鳥(上)・留鳥(下)



オオヨシキリ



ヨシゴイ



イワツバメ



カルガモ



オオバン



ヤマガラ

水田の鳥など



採食中のマガンと食物(落ち粃)



ダイサギ



タゲリ

沼の周辺にある水田はマガンなど鳥類の採食場所であり、メダカなどの魚類の産卵場所になっています。沼の生き物にとって、水田は大切な生息環境になっています。

水生植物

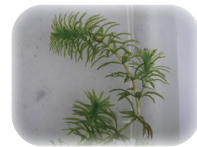
7～8月にはハスやアサザなどが咲きます。地域では、ハスを観賞するための舟を出しています。



ミスアオイ



ガガブタ



クロモ

昆虫



ウチワヤンマ



オオセジイトトンボ



サンクチュアリセンター つきだて館(昆虫館)

伊豆沼・内沼周辺で見られる昆虫と、世界各地の珍しい昆虫を展示しています。

淡水魚など



ゼニタナゴ



ヌカエビ



登米市伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター(淡水魚館)

伊豆沼・内沼には、コイ科魚類などの淡水魚が数多く生息しています。淡水魚館では、その一部を展示しています。

伊豆沼・内沼にようこそ!

伊豆沼鳥獣保護区の概要

伊豆沼鳥獣保護区は、宮城県北部の栗原市と登米市にまたがる伊豆沼及び内沼からなる区域です。鳥獣保護区として1,455ha。そのうち、特別保護地区として907haが指定されています。

この区域は、マガン、オオハクチョウをはじめ、多くの冬鳥が飛来する日本有数の越冬地です。特にマガンは、我が国に飛来するマガンの8～9割の個体が、宮城県北部で越冬し、重要な生息地となっています。

マガンの朝の飛び立ち

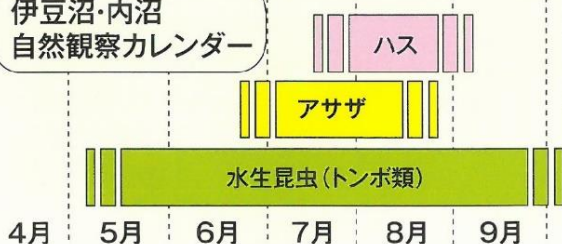


チョウトンボ



アサザ

伊豆沼・内沼 自然観察カレンダー



ラムサール条約

1985年9月、伊豆沼・内沼は日本で2番目のラムサール条約登録湿地に指定され、「水鳥の生息地として国際的にも重要な湿地」として世界的にも重要な湿地として認められました。

自然再生事業

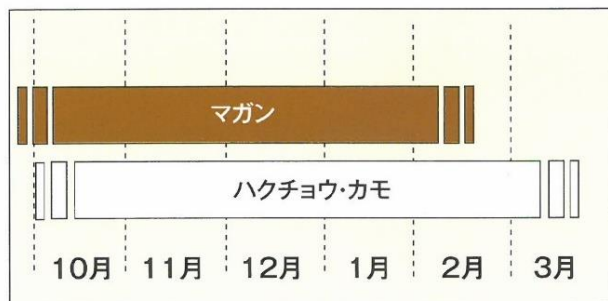
伊豆沼・内沼は水質汚濁や外来生物など人為的な影響を受けて来ました。自然再生推進法に基づき「伊豆沼・内沼自然再生協議会」が設立され、地域・団体・行政などの多様な主体が協力し、伊豆沼・内沼の自然の保全・再生を目指しています。



マガン



オオハクチョウ



伊豆沼・内沼への交通案内



宮城県北部の3つの
ラムサール登録湿地
蕪栗沼・周辺水田



伊豆沼から南へ車で約
30分。数多くのマガンが
飛来します。

化女沼

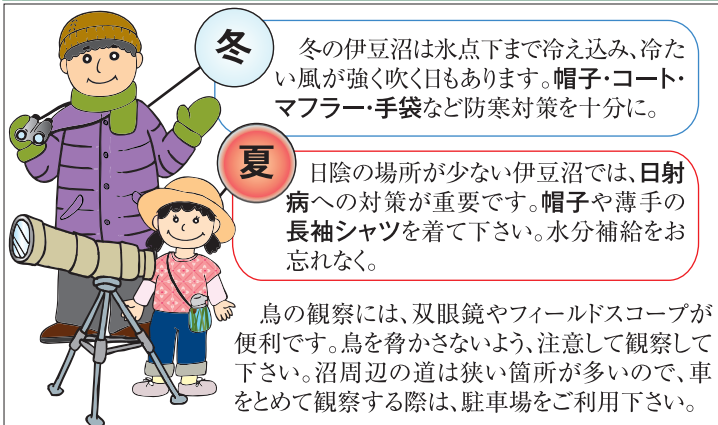


伊豆沼から南西へ車で
約45分。亜種ヒシクイの
飛来地です。

伊豆沼までのアクセス

- ◎ 東北自動車道 築館ICから車で約15分。または若柳金成ICから車で約30分
- ◎ JR東北新幹線 くりこま高原駅から タクシーで約10分
- ◎ JR東北本線 新田駅から 徒歩約10分

観察するときのポイント



発行／環境省 東北地方環境事務所 野生生物課
〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町3-2-23
TEL: 022-722-2876 FAX: 022-722-2872
ホームページ: <http://tohoku.env.go.jp/>

編集／(公財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団
〒989-5504 宮城県栗原市若柳字上畑岡敷17-2
TEL: 0228-33-2216 FAX: 0228-33-2217
ホームページ: <http://www7.ocn.ne.jp/~izunuma/>

写真協力: 篠原善彦・三島直温 平成29年3月発行

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



国指定 伊豆沼鳥獣保護区



環境省